

太陽の子

2025年 7月 No.192

夏の号



発行

日立市助川町5-14-8
 TEL(23)2620 FAX(33)9150
 ホームページ <http://www.taiyonoie.com>
 Eメール npo@taiyonoie.com
 NPO法人 日立太陽の家
 日立重症心身障害児(者)を守る会
 日立太陽の家支える会



園外活動で吉田記念館を訪ねました。満開の桜を眺められるカフェテラスからお花見、高い場所から観る桜にみんなで感動しました。(太陽の家)

ごちゃまぜ

日立市ひまわり学園 サービス管理責任者 佐藤 美沙

6月5日〜6日、石川県金沢市にある施設、B's行善寺とStare金沢へ行ってきました。どちらの施設もごちゃまぜがコンセプトの施設でした。子どもも高齢者も障害者も関係なくごちゃまぜ。お互いが支え合って一緒に暮らす街。一人だと孤独になりがちですが、いつでも会いに行ける場所がここにはありました。

一日目はB's行善寺です。お寺と温泉旅館のような建物。中に入ると近所のおじさんや近所の子どもたちが足湯につかっていた。その奥のくつろぎスペースにはゆったり座ってこちらを見ていた男性が一人……この町内に住んでいる人はいつでも無料で温泉に入ることができます。いつでも入れるから明日も来たいと思う。毎日来れば毎日会える人がいる。それが自分の居場所になるのです。

施設の中心には公園のような遊具がありそこでは、子どもが遊んでいました。近所の子どもと保護帽を被った子ども。そしてその子どもたちを見守っている保護者なのか支援員なのか……「おかえり〜」と言って一緒に遊んでいました。誰でも自由に出入りできるので、鍵はありません。扉もありません。もちろんカメラもありません。だから出ようと思えばすぐに出られます。でも出て行ってしまおう人はほとんどいないそうです。

二日目はシェア金沢です。こちらは、B's行善寺よりも大きな地域でまとまっています。温泉を中心に高齢者住宅や障害者や児童の入所施設、グループホーム、そして学生向け住宅など。リラクゼーション施設やキッチンスタジオ、カフェもあります。本当に大人も子どもも学生もさまざまな人がごちゃまぜに暮らしており、支え合って暮らしていました。

2024年1月1日に能登半島地震が起こりました。もしまた地震が起こったらみんな迷わずここに集まってくるだろうと話していました。いつも来ている場所だからここに集まってくると。被災している人に職員は餅を届けに行ったそうです。でも餅を受け取った人は届けに来た職員にその餅をふるまったそうです。自分だけではなくみんなで助け合っているのです。

今回の研修では、「人と出会える居場所作り」を何度も耳にしました。その人がそこにいたい、行きたいと思える居場所があればそれでよし。私たちはその居場所を見つけて黒子になりたいです。

職員リレー

毎日の約束

居宅介護事業所

藤田 恵美子

居宅の朝は、利用者さんをお迎えに行くことから始まる。今日のご機嫌は？体調は？と気にかけてながら参ります。ご自宅に着くと気合を入れて「おはようございます！」

私の中で目いっぱい笑顔でご挨拶です。車の中でも身振り手振りでコミュニケーションをとります。入浴中も食事でも一日中張り切ります。

コロナ禍では制限もありましたが、やっと心置きなく笑える日々が戻ってきました。

そう、「二日一回みんなでおおう」の約束です。

居宅でのお仕事を始める時にまず心がけるようにとご指導いただきました。

作業の手順も分からず先輩方についていくので必死でしたが、この約束は守るようにしていました。

利用者さんは私たち職員のことをとてもよく見てくれていきます。物を落としたり蹴つまずいたりすると、とてもよく笑います。隣の部屋からでもなぜか気付いて笑ってくれるのです。

そんな利用者さんの笑顔と笑い声の溢れる中で楽しく仕事ができることに感謝して毎日を過ごしています。疲れていても、利用者さんと一緒に笑うと忘れてしまいます。

時には大きな声ではしゃぎすぎて、周りの方に迷惑をかけてしまうこともありますが、本当に申し訳ないです（笑）

いまだに失敗と反省を繰り返す日々ですが、ご家族や職員の皆様のご協力もいただき、明日も笑顔で無事にご自宅まで送り届けられるようにいたします。「ただいまー」の声とともに。



NPO法人日立太陽の家に 入職して

日立市ひまわり学園

望月 千年

私は4月に太陽の家に入職しました。今は研修期間中です。

6つの事業所を研修でまわる中、尊敬する利用者さん、職員さんとお会いしました。

中でも印象に残った利用者さんと職員さんがいます。その利用者さんは生まれつき歩けなかつたのですが、ある職員さんに出会い、気持ちの後押ししてもらい支えられ、歩けるようになったそうです。彼女は車椅子の生活の間、歩けないことで周りに迷惑をかけていると思いつつ過ごしていたそうです。迷惑をかけていると、いつも感じながら生活をしてきたことに胸が締め付けられました。そして、歩きたいと思い、それを支える勇気、その思いを支えた職員さんの強さに感動しました。支援員は、利用者さんの人生を変えることができます。

私は、介護の経験がなく、本当に未熟ですが、これから経験を積み勉強をして、利用者さんを笑顔にできる支援員になれるよう努力していきたいと思っています。また、私が利用者さんだったら行きたいと思う、利用者さんの親だったら安心して通わせられる、そんな支援ができるよう意識して、関わっていかれたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

新たなスタート！

日立市太陽の家

加藤 翼

皆さん、こんにちは。本年度から太陽の家で働かせていただくことになりました。加藤翼です。私は学生の時に、ひまわり学園でボランティアをしていました。最初は利用者さんとのコミュニケーションをとることも大変だったことを覚えていきます。少しずつ利用者さんとのコミュニケーションをとれるようになり、関わるのが楽しくなってきました。

ボランティアを通して学んだことは、自分が笑顔で接すれば、利用者さんも笑顔になってくれることが分かりました。利用者さんが笑顔になってくれると、私も嬉しい気持ちになります。私は、その笑顔を見てこの仕事に興味をもち、私も障害を持つている方の力になりたいと思うようになりました。そして、この5月から太陽の家でお世話になっています。

これからは、ボランティアではなく、一人の社会人として、責任を持って生活していきたいです。個人の目標として、笑顔と感謝を忘れず、「二日一回は笑う」ことを意識して、利用者さんと楽しく過ごしていきたいと思えます。また、利用者さんが太陽の家は楽しい場所だと感じていただけようように努力していきます。私もたくさん知識や技術を身につけて、利用者さんに心地良い支援が出来るように頑張っていきたいです。



笑顔と感謝

令和七年度を迎えて

日立重症心身障害児者を守る会会長 藤枝利彰

日頃より日立守る会会員の皆様方には、当会へのご支援等を賜り誠に有難うございます。

昨年九月には、天皇后陛下のご臨席を仰ぎ、守る会創立六〇周年記念全国大会が開催されました。天皇陛下より「重い障害のある人たちが、施設においても、地域においても、かけがえない人生を豊かに生きていくことのできる社会が続いていくことを望んでいます」と温かいお言葉を賜りました。

日頃より日立守る会会員の皆様方には、当会へのご支援等を賜り誠に有難うございます。 (茨城県支部では三名出席)

※令和七年度の主な行事

- ①日立重症心身障害児(者)を守る会総会
- ・令和七年四月一九日に来賓五名、会員一〇名の参加で開催されました。
- ・令和六年度の事業、決算報告・令和七年度の事業計画、予算計画等が審議され承認されました。
- ②茨城県重症心身障害児(者)を守る会総会(東海村総合福祉センター「絆」)
- ・令和七年五月一七日に来賓七名、会員一五名、会員外二名 合計二四名の参加で開催されました。
- ・令和六年度の事業報告、決算報告、

令和七年度の事業計画、予算計画等の審議が行われ承認されました。また、東海村社会福祉協議会 生活支援ネットワークの担当者による『その人らしい生活を支える成年後見制度』の演題で講演が行われました。

③全国重症心身障害児(者)を守る会主催行事

*第六二回全国重症心身障害児(者)を守る全国大会

・令和七年九月二〇日～二一日(日)

・ところ：札幌パークホテル(北海道札幌市)

・内容：式典、基調講演、分科会等

*第三五回 関東・甲信越ブロック大会

・令和七年十一月五日(土)

・ところ：高崎シティギャラリー コアホール(群馬県)

・内容：式典、基調講演、シンポジウム等

④日立市太陽の家奉仕作業

・令和七年六月十四日(土)

・令和七年一〇月二五日(土)

⑤第五六回 日立ふれあい運動会

・ところ：日立市池の川さくらアリーナ

⑥令和七年度 支部活性化支援事業(全国守る会からの補助金) 研修会開催予定

・令和七年一月二十九日(土)

・ところ：ホテル レイクビュー水戸

・内容：・重症心身障害児・者の(医療ケア児含む)療育介助などの講義と指導

夢は『太陽の家グループホーム』

ひまわり学園保護者 萩谷 敏昭

現在、大阪万博が華々しく開催されておりますが、遡ること55年前の1970年にも大阪万博が開催されました。なんとその同じ年に重症心身障害児(者)の通園施設として「太陽の家」がわが国で初めて運営を始めた。なんとその同じ年に大められたことは日立市の大いなる誇りであり先人の皆様方に敬意を表するものです。私どもの息子、萩谷健が太陽の家グループ「ひまわり学園」に通園を始めたのが1999年です。から既

・守る会歴史の講演と研修等以上が令和七年度の日立守る会の主な年間の行事になっておりますので、会員皆様の参加をお願いいたします。今年一年も会員皆様のご協力を頂き、各行事を進めていきますので、よろしくお願いいたします。

に26年が経過し息子の年齢も44歳となりました。そんな息子は毎日の通園をとっても楽しみにしており、背丈こそ大きいものの、保育園児のような感覚で毎日を通園しております。忍耐力とユーモアにあふれた先生方のご指導のおかげで幸せな通園生活を過ごしている息子ですが、気が付けば年齢的にも新たなステージを検討せねばならない状況となりました。親としての夢は、



ミュージックケア、パラバルーンの上の鈴やボールが軽やかに舞い音楽に合わせて身体を動かします。(ひまわり学園)



かみね動物園で、ゾウさんと記念撮影、沢山の動物とも触れ合うことができました。(母子療育ホーム)



旧園庭沿い歩道側の植え込みの雑草を取り、花を植えました。歩く人の癒やしになればと心を込めて植えました。(しいの木学園)



宿泊を楽しみにしている利用者さま、それぞれの過ごし方をしています。リラックスしてよい表情ですね♡(グループホーム)

※写真撮影時のみマスクをはずしています

○次の方から寄付を頂きました(敬称略) 三月〜五月
黒澤弘明 金澤博美
佐藤芳昭 藤枝利彰
日立太陽の家支える会
日立太陽の家ボランティアグループ
澤島供弘・京子

ご寄付ありがとうございます
ございました

◎二〇二五年度
NPO法人日立太陽の家
利用者総数 二百八十五名
男性 二百一十六名
女性 百六十九名

お知らせ

(前頁より)
この太陽の家グループで新たに『グループホーム』を立ち上げることに尽きます。これは凡そ全ての親の願いです。我々親の結集はもとより、先生方をはじめ各方面の方々のお知恵とお力を拝借して、『太陽の家・グループホーム』の実現を心から願って結びとします。

編集後記
キラキラ太陽と仲良く遊びましょう。水分補給も忘れずに！
(K記)



★ピッココンサート開催★
場所 多賀市民会館 2階ホール
日時 令和7年 8月30日(土)
チケット好評発売中
問い合わせ先
0294-87-8255
ご連絡お待ちしております。

○次の方から物品の寄贈がありました(敬称略) 三月〜五月
椎名将光 有馬郷子
長尾静子 蛭田祥子
村田啓子 大森健二